

社協だより

こいうえ

第39号

発行日 / 平成31年1月4日
 発行者 / 己斐上学区 社会福祉協議会
 会長 國武 訓扶衛
 編集 / 広報委員会

新年のごあいさつ

己斐上学区 社会福祉協議会
 会長 國武 訓扶衛



明けましておめでとうござ
 います。上学区の皆様にはま
 すますご健勝のこととお喜び
 申し上げます。平素は私ども
 社会福祉事業の推進につきま
 して、ご支援・ご協力を賜り
 厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の定期総会にて
 会長に再就任いたしました。
 今後ともよろしくお願いいた
 します。

現在、昨年の定期総会にて
 承認された事業計画に沿って
 活動推進しているところで
 すが、とくに己斐上学区の課題
 として少子高齢化対策、また、

誰もが住みなれた地域で安心
 に暮らせる支え合い事業、空
 き家対策への取り組みを含め、
 「二十一世紀の己斐を創る会」、
 自主防災会など、まちづくり
 の安心・安全への取り組みを
 進めてまいります。また、「敬老
 の日の集い」「いきいきサロン」
 などの行事も実施いたしまし
 た。引き続き学区の皆様との
 連携を深め、住みよい環境づく
 りに努めてまいりますので、ご
 支援・ご協力を賜りますよう
 よろしく御願申し上げます。



はばたきの里



地域に根ざした
 活動を

今年も十一月十六日に恒例
 の芋煮会を開催し、地域の方々
 多数の参加をいただきました。

理事長 吉野 勝彦

町内会だより

日生東町内会

会長 國武 訓扶衛

青空シニア教室の開催

平成二十三年から開始してい
 る、高齢者向け講座「青空シニ
 ア教室」(町内会主催)は、今
 年で七年が経過しました。

「地域包括支援センター」の
 ご協力をいただき、認知症予防・
 転倒予防などの健康体操を毎回
 専門家の先生に来ていただいて
 開催しています。

当町内には集会所がないた
 め、公園で青空のもと、気候の
 良い三月下旬から六月上旬、九
 月下旬から十一月上旬に、合わ
 せて十回程度開催しています。
 年間十回と少ない開催ですが、



その都度分かりやすい資料と説
 明をしていただき、各家庭で、
 好きな時、好きなだけ、習慣と
 してできるよう工夫していただ
 いております。昨年九月からは、
 七十歳以上の参加者に、いきいき
 ポイントが付くことになり四十
 名前後の方が楽しそうに受講し
 ておられます。(雨天中止)

なお、一人でも多くの方に参
 加して健康になっていただくよ
 うポイントのほかに毎回、参加
 者全員に台所洗剤、ごみ袋など
 の家庭用品を進呈しています。

夏まつりの開催

今年の夏まつりは、去る七月
 二十八日(土)に行ないました。
 今年も「基町幸基会」総勢十二
 名の皆さんによるチンドンと大道
 芸でオープニングを飾っていた



き、児童を対象としたグラウンドゴルフのホールインワン大会、恒例のビンゴゲームなどに二百五十名を超える皆さんのご参加をいただき、大いに盛り上がりました。

屋台コーナーは、むすび、やさそば、鶏のから揚げ、枝豆、缶ビールなど(町内会担当)かき氷、フランクフルト、缶ジュースなど(子ども会担当)焼き鳥(フットボール同好会担当)といずれも好評ですべて完売しました。

なお、恒例の花火大会は台風の影響で風が強くなったため残念ながら中止となりました。

悠々会の開催

平成十七年から始めた、三世代の交流を目的とした「悠々会」も今年で十三年目を迎えました。今年も三回、公園でミニグラウンドゴルフ大会を実施しました。(用具の一部は茶臼台町内会から借用) 児童、父兄、お年寄りの皆さん四十名余りが、くじ引きで五〜六組の混合チームに分かれての対抗戦です。(ささやかな景品あり) 高齢者の皆さんも孫のような児童と一緒に元気に楽しんでいました。

茶臼台町内会

年末恒例

三世代火の用心

防犯防火部部長 島田 紳一

茶臼台町内会では毎年十二月二十九日、三十日、三十一日の三日間、親子・じいちゃん・ばあちゃん三世代で町内を隈なく歩く「マッチ一本火の用心」「子どもの火遊び火の用心」などと子どもたちがいろいろフレーズを考えて防災警報を呼び掛けながらワイワイガヤガヤと楽しく町内を一周する年末夜警をおこなっております。



この年末夜警は町内会ができて間なしの昭和五十三年から始まり、四十年が経ち、い

ろんな出来事がありました。なかでも一番記憶に残っているのが、夜警の途中で見つけた己斐上中学校登り口公園向かい側の山裾の「ボヤ」、通報スグ「うーうー」と大きなサイレンとともに消防車が駆けつけたこととこと無きを得ましたがこの時ほど消防隊が頼もしく有難く、思えたことはありません!

大迫団地町内会

町内会の活動

会長 倉沢 由美子

大迫団地町内会・会則が平成二年四月一日に実施されて以来今日まで、新役員は住民同士の話し合いで決められていました。

三十年度は副会長・会計の二名が交代し、三十一年度の会長・副会長の交代を見据えて、総会でのアンケート配布。役員会では選出方法を協議し、また町内会には、年三回発行する「大迫だより」で再三広報をしてきましたが、いまだ建設的な意見は皆無に近く難航が続いています。

会長・副会長が敬遠される原因に「雑務の多様性」と「職責の重さ」があげられます。誰にでも町内運営ができるよう、従来の「町内会依存型」を見直し、隣・近所・班・組での役割と町内会の役割を仕分けし、併せて行事も見直して誰が受けても「重責」にならない環境作りが大切かと思われます。

それぞれ価値観や住民意識は違っても町内会が存在する意義は大きく、役員不足が理由で町内会活動が停滞することのないように、また、今後の役員改選を円滑に進めるためにも今までの方法にこだわることなく、新しい組織作りが必要かと思われます。

緑ヶ丘町内会

秋祭り

会長 田井 嘉彦

緑ヶ丘町内会では、十月二十一日(日)に秋祭りを行いました。

快晴のもと、子どもみこしの練り歩きを行いました。練り歩きの後、己斐上五丁目集会所で、収穫に感謝し、



町内の融和、懇親を図り食事をいたしました。

前週の日曜日(十四日)には、集会所の草刈を、町内会役員、組長で行い、きれいな集会所で食事会をすることができました。

草刈に参加していただいた方々に感謝いたします。

己斐団地町内会

盛夏の納涼大会

会長 山野 為義

七月二十一日(土)、恒例の己斐団地町内会納涼大会を開催しました。

暑い夏の夜の一時を町内の多くの人が参加し、夜店や踊りに、昨年から始めたビンゴ



ゲームで楽しみました。
今後も町内のコミュニケーションの場として工夫しながら続けたいと思います。

やまなみ町内会

MVPは二頭の獅子舞

副会長 高山 茂

やまなみ町内会には会員から楽しみにしていただいている三人行事があります。

一つは、子どもから一人暮らしのお年寄まで、楽しく遊べる「いきいきサロン餅つき大会」。

二つは、歌って踊って、飲んで食べての最大イベントである「夏祭り」。

三つは、子どもの成長と町内会のみなさんの健康を願って神輿が練り歩く「秋祭り」です。



昨年は、これらの行事を盛況のうちに無事終了することができました。とりわけ、秋祭りについては、恒例の「子ども俵みこし」に加え、新たに「大人神輿」が参加し、さらには二頭の「獅子舞」も登場したのです。

獅子舞に頭を噛まれると、邪気を食べたり、追い払ってくれることから、無病息災で過ごせると言われています。また、子どもの場合には、健やかな成長と学力向上のお利益がある

とされています。このように、獅子舞は縁起ものですから、町内会の多くの皆さんが健康を願って頭を噛んでもらい、「これで健康で過ごせる」と喜びの声を上げておられました。また、三か所の老人ホームでも絶大の人気でしたので、昨年の三人行事の MVP は二頭の獅子舞に決まりました。

閑静園町内会

みんなで楽しく、住みよい町に!

会長 望月 照己

役員一同、頑張ってます。

皆さんが安心して、楽しく暮らせるよう、

今年も、夏祭り、秋祭り、餅つき大会を盛大に行いました。夏まつりは、民謡・フォークダンス・町内バンドが始まり、みんなで楽しく踊りました。秋祭りでは、今年も天気にも恵ま

れ、若い人の参加も増え、町内を練りながらまわった後、パーベキューをして交流を深めました。そして今年最後の行事、餅つき大会。朝早くから例年より多くつき、集会所のリフォームの完成も祝いました。



くださいました。これからも助け合って、住みよい町づくりに取り組んでいきたいと思えます。

明山台町内会

秋祭りに思う

会長 末田 玲子

十月二十一日(日) 秋晴れのさわやかな朝を迎え、町内秋祭りが始まりました。

二基の御輿を大人も子どもも一緒に担ぎ、「わっしょい! わっしょい!」という大きな掛け声が祭りを盛り上げます。外に出てきて応援していただいた人たちの笑顔に重たい御輿もなんのその! 元気に山の神様へ到着しました。



今年 は 県 内 各 地 で 豪 雨 に よる 災 害 も あり、町 内 の 安 全 と 地 域 復 興 を 願 い な が ら み ん な で 手 を 合 わ せ ま し た。

明 山 台 も 古 い 団 地 と な り、高 齢 者 世 帯 や 空 き 家 も 増 え、児 童 減 少 と 課 題 は 多 く あり ま す が、会 場 で は お で ん や ぜ ん ざ い、く じ 引 き！ と 大 人 も 子 ども も 楽 し い 時 間 を 過 せ ま し た。十 年 後 二 十 年 後 も 次 世 代 に 続 き ま す よ う に と 願 っ た 一 日 で し た。

がんばろう 広島！
がんばろう 明山台！

上三区町内会

いきいき百歳体操

会長 吉川 通弘

いきいき体操も十二月で二年六カ月になりました。三区、四区を中心に毎週四十五名以上の参加があります。

己斐上集会所では、毎週水曜日の九時から十時の一時間開催しています。カーブ広島百歳体操のショートバージョンを基本として、約三十分程度、重りを付けた筋力運動をしています。その後三十分を、八パ

ターン(かみかみ、しゃきさき百歳体操。思い出の歌で高齢者イキイキ。ごぼう先生の健康体操。NHKラジオ第一第二体操)等を毎週変化させてDVDを使用しています。また、早く来られる方は準備体操として八時四十五分からリズム体操、防府市のお笑い体操をしています。四月には栄養予防の話を森永乳業グループ(株)クリニコの方

にしていたいただき、五月にはヤクルトの栄養教室で「うんこ」の話を講師の方に関西弁で面白おかしく話をしていただきました。十月には、お笑いヨガストレッチ体操をオレンジなかよし倶楽部の方に楽しくしていただきました。これからもたまには、



講師の方に来ていただいたりしながら楽しく百歳体操を続けていきたいと思えます。

上四区町内会

楽しかった町内夏まつり

夏まつりと

町内Gゴルフ大会

会長 大下 隆晴

今年度も毎年恒例の町内夏まつりを七月二十八日に己斐上第五公園にて開催され、町内のご近所さん、老若男女大いに楽しみ親睦を深める集いとなりました。

夏まつりは、老人会(きらく会)、こども会および女性会との共催で、こども会児童の開会宣言で始まり、町内老人施設からの参列もいただき、各種夜店で賑わう中バンドの生演奏、フラダンス等が披露され最後には子どもたちに大人気の空くじなしの豪華賞品抽選会で幕を閉じました。
Gゴルフ大会は老人会(きらく会)との共催で、クラブ等の道具が無い初心者でも遠慮なく参加できることから試合中はあちこちで和やかな笑い声が



飛び交っていました。今回はとくに全員対象の参加賞が豪華となるように工夫されていたので全員ニコニコでした。

子ども会育成協議会

あるけあるけ運動

会長 勝乗 賢美

十月七日体育の日、恒例のあるけあるけ運動を行ないました。台風の影響が心配されましたが、当日は秋晴れに恵まれました。

朝八時過ぎ、子ども達が己斐上小学校のグラウンドに集まり始めます。子どもが集まると遊びが始まります。出発式までディスクドッチで二汗かきます。



九時、社会福祉協議会吉川副会長の挨拶のあと、体協の沖中副会長の諸注意、そして参加者全員でストレッチ体操。さあ、竜王公園目指して出発です。体協の役員さんがみんなを安全に目的地まで誘導してくれます。
竜王公園では、こども会の役員によるゲームをします。『宝探しゲーム』では子ども達が公園内に隠された宝を探します。階段の途中や植え込みの隙間、木のくぼみ、草の間などで、役員が苦労して隠します。それでも、子ども達はすぐに見つけてしまいます。次にジャンケン列車ゲームをして、みんな一つの列車になりました。

もつと遊びたいという声もありましたが、茶臼台公園に向けて出発です。

ゴールの茶臼台公園では、参加賞のパンと飲み物が配られました。お腹をすかした子ども達はさつそくほおぼっていました。最後に、抽選会です。お菓子や玩具が当たって大盛り上がりでした。さわやかな秋の日、皆さんと一緒に過ごして楽しかったです。お疲れ様でした。

中学校PTA

PTA活動報告

会長 伊藤 淳子

この春、新一年生五十九名を迎え生徒数一八五名となり、「豊かな心をもち、自主性のあるたくましい人間を育成する」を教育目標にスタートいたしました。

五月に一年生は野外活動を通じ学校以外の他の施設を使わせていただきながら、いろいろな体験で仲間との絆を深めました。そして三年生は始めての職業体験です。地域内外の多くの事業所の皆様にお世話

になり、仕事の楽しさ、大変さを学びました。

六月の体育祭は、天気にも恵まれ、地域の方・保護者の方の声援のもと、それぞれの種目に真剣に取り組み、力強い「上中ソーラン」も披露してくれました。

七月は各地で災害が発生し、広島市も甚大な被害がありました。自分たちも何かできることは？と地域の方にも呼びかけ、日赤を通じて「ボランティアぞうきん」を必要な被災地に届けていただきました。そして同月十三日に開催されました「心の参加日」では、特定



非営利活動法人スピカ代表の山下育美さんをお招きし「動物殺処分数を減らす取組」の公演を聞き、人として犬や猫の「いのち」の大切さを学ぶよい機会になりました。

十月の己斐上フェスタでの、合唱コンクール、どの学年も真剣勝負で、ほんと素晴らしいハーモニーでした。そして今年の和太鼓は、朝日学級と三年生有志&己斐上木遣同好会&校長先生のコラボです。毎日の練習の成果を存分に発揮し力強く心に響き渡りました。

部活動においても、学校の代表として、日ごろの成果を十分発揮し良い結果とつながっています。

十二月には、二年生が東京へ修学旅行へ行きます。他県での学習で多くを学ぶことでしよう。

子ども達が良い学校生活を送るために、多くの方のお力をいただき、感謝申し上げます。これからも、学校・家庭・地域と連携し、PTA活動を行いますよう、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

子ども達が良い学校生活を送るために、多くの方のお力をいただき、感謝申し上げます。これからも、学校・家庭・地域と連携し、PTA活動を行いますよう、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

小学校PTA

そうめんとおやじ

副会長 宮本 隆文

主要行事である運動会と祭校祭を終え、今年度の己斐上小PTA活動も後半に入りました。

運動会・祭校祭の他にも恒例となった「そうめん流し」を夏休み中の八月四日に開催できましたので紹介いたします。

この行事は毎年、己斐上小PTAおやじの会を中心に企画・実施しており、夏休み中の小学校を開放いただいています。お

やじ達の手作りの竹水路二列に、各自が持ち寄った「そうめん」を流して「大石家さんのそうめんつゆ」でいただく本格そうめん流しです。今年の竹は、若干曲がりがあり、流したそうめんが遠心力で飛び出すハプニングもありましたが、時折プチトマトやあめ玉、キャンディーチーズも流れ、その度に子どもたちから歓声があがりました。また裏方では山出校長先生、梅田教頭先生にもお手伝いいただき大変助かりました。

子ども達が良い学校生活を送るために、多くの方のお力をいただき、感謝申し上げます。これからも、学校・家庭・地域と連携し、PTA活動を行いますよう、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

「そうめん流し」の後は水あそび。水風船が飛び交いおやじ達はもれなく被弾…。準備した三〇〇個の水風船は瞬く間になくなり投了。

続いてスイカ割り。じやんけんの勝者がスイカを割って美味しくいただきました。最後にみんなで掃除と後片付けをして今年の「そうめん流し」を終わりました。当日は心配された熱中症もなく、おやじ達も童心に戻って、子どもとの時間を過ごすことができました。

社協関連各位様には夏季球技大会、夏祭り、オセロ大会、もちつき大会等々、子どもたちに体験の場や思い出の提供、登下校時の路上見守り等をして





元気の出る講演会
 会長 山口 豊子
 公民館との共催で六月ご案内した「ちょっと覗いてみたいケアリングクラウンの世界」に参加された多くの方々とともにシャンピーこと吉長孝衛さ

女性会

ださり、この場をお借りしお礼申し上げます。今後とも己斐上小PTAにご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

元気の出る講演会

会長 山口 豊子

んのバルーンアートも楽しみながら、日ごろの活動等のお話に引き込まれていました。高齢者施設、病院、そして、地域や児童館等での子どもたちにもピエロさんは、心も、体も元気に笑顔を広げてくださいます。合わせて災害時に役立つ公衆電話の利用法も学び、知らなかったことを知り、共感できることは、うれしいことを改めて感じました。地域でもっと楽しく、笑顔を広げていく女性会の役割を大切に、活動が続けます。

母親クラブ

子育て支援

会長 大下 素美

母親クラブでは、公民館、民児協、女性会との共催で、子育て支援として毎月二回「オープンスペース」を開いています。その中で、毎年三月は、第四水曜日に「お楽しみ会」をしています。これは、オープンスペースの利用が〇才〜未就園児の親子対象であるため、四月から幼稚園・保育園



に入園し、オープンスペースを卒業する子ども達へ、最後のお楽しみとして取り組んでいます。

この日は講師を招き、歌、踊り、人形劇など、いつもとは違った遊びで楽しく過ごします。小学校や幼稚園が春休み中であることから、利用している子ども達のお兄さん、お姉さん、そしてスタッフも一緒に、しあわせなひとときを過ごします。

スタッフ一同は、子ども達の楽しそうに踊ったり、笑ったりしている姿を見ることができ、成長を感じることが出来ます。そして地域の活動として大切な役割を担っていると実感しています。

地区青少協

オセロ大会

会長 山下 正司

十月二十七日(土曜日) 青少協 秋の恒例イベント『第二十九回オセロ大会』を開催しました。

参加人数は毎年六十名程度、児童館の方達の前面バックアップで開催されました。年一回のこの大会を目指し、

お兄ちゃん、お姉ちゃんを相手にしっかりトレーニングしてきた子、また、何も準備らしいことができなかった子、みんなそれぞれの状況で優勝杯目指しての熱い戦いです。

今年直前に『オセロ世界大会で神奈川県小学校五年生が優勝』というビッグ



ニュースが流れたり、校長先生の観戦……等もあり、ずいぶん盛り上がった大会となりました。表彰式では、杯を受け取る子どもたちのうれしいうで得意げな顔、負けてしまった杯のない残念な顔それぞれにみんなとても豊かな表情です。参加賞のお菓子をもらい、帰っていくころはみんな普段どりのいい顔に戻り帰って行きます。

次回は校長先生に、観戦でなく参戦していただき、優勝者対校長先生で児童館の対決、なんかあると面白そうですね。関係者の皆様ありがとうございました。

編集後記

これからも社協だより「こいうえ」は地域の情報発信の場にしていきたいと思っておりますので、ご意見・ご感想等がございましたら事務局までお願いします。今後とも、己斐上学区社会福祉協議会へのご協力よろしくお祈いします。

事務局